

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-97451  
(P2019-97451A)

(43) 公開日 令和1年6月24日(2019.6.24)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
AO1K 1/02 (2006.01)	AO1K 1/02 C	2B101
AO1K 23/00 (2006.01)	AO1K 23/00 C	

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2017-230686 (P2017-230686)  
(22) 出願日 平成29年11月30日 (2017.11.30)

(71) 出願人 516371922  
株式会社ペティオ  
大阪府大阪市淀川区宮原五丁目1番18号  
(74) 代理人 100126000  
弁理士 岩池 満  
(74) 代理人 100154748  
弁理士 菅沼 和弘  
(72) 発明者 山田 武史  
大阪府大阪市淀川区宮原五丁目1番18号  
株式会社ペティオ内  
(72) 発明者 鈴木 豪  
大阪府大阪市淀川区宮原五丁目1番18号  
株式会社ペティオ内  
Fターム(参考) 2B101 AA13 AA20 FB01 FB03

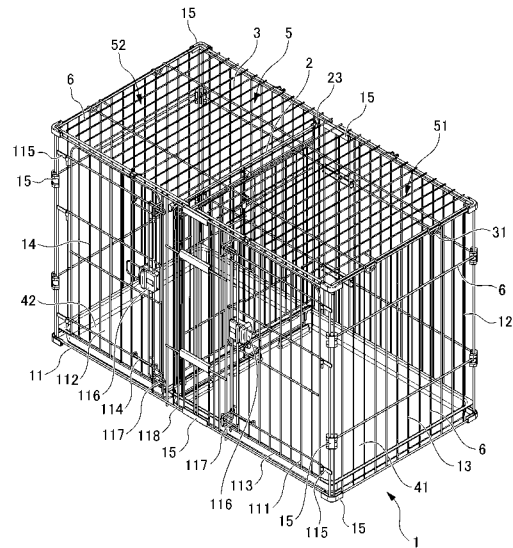
(54) 【発明の名称】 ペット用サークル

(57) 【要約】

【課題】正面と背面とを反転することなく、隣り合った居住スペースとトイレスペースとの配置を変更することができるようにしたペット用サークルを提供する。

【解決手段】ペット用サークルは、周壁パネル1と、仕切パネル2と居住側トレイ41とトイレ側トレイ42とを備えている。周壁パネル1は、正面パネル11と背面パネル12と左右の側面パネル13, 14との各側辺が互いに連結され、内側に内部空間5を設ける。仕切パネル2は、内部空間5を居住スペース51とトイレスペース52とに区画するように正面パネル11及び背面パネル12に取り付けられる。居住側トレイ41は、居住スペース51内に置かれる。トイレ側トレイ42は、トイレスペース52内に置かれる。居住側トレイ41とトイレ側トレイ42とが交換自在とされる。両トレイ41, 42の交換に対応して仕切パネル2が正面パネル11及び背面パネル12に着脱自在とされる。

【選択図】 図1



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

正面パネルと背面パネルと左右の側面パネルとの各側辺が互いに連結され、内側に内部空間を設ける周壁パネルと、

前記内部空間を居住スペースとトイレスペースとに区画するように前記正面パネル及び前記背面パネルに取り付けられる仕切パネルと、

前記居住スペース側に置かれる大きめの居住側トレート、

前記トイレスペース側に置かれる小さめのトイレ側トレート、  
を備え、

前記居住側トレートと前記トイレ側トレートとが交換自在とされ、当該両トレートの交換に対応して前記仕切パネルが前記正面パネル及び前記背面パネルに着脱自在とされ、当該仕切パネルの取付位置によって前記居住スペースとトイレスペースとの配置が変更可能とされている、

ペット用サークル。

**【請求項 2】**

前記居住側トレートは、前記居住スペース内に置かれる又は前記居住スペースから食み出るように置かれ、前記トイレ側トレートは、前記トイレスペース内に置かれる又は前記トイレスペースから食み出るように置かれる、請求項 1 に記載のペット用サークル。

**【請求項 3】**

前記正面パネルは、前記居住スペースへの出入口及び前記トイレスペースへの出入口を有し、前記各出入口を開閉する各扉を備えている請求項 1 又は 2 に記載のペット用サークル。

**【請求項 4】**

前記正面パネルは、前記居住スペースへの出入口と前記トイレスペースへの出入口との間に設けられる中間部であって、前記仕切パネルが取り付けられる中間部を備えている請求項 1 乃至 3 のうちいずれか 1 項に記載のペット用サークル。

**【請求項 5】**

前記仕切パネルは、前記居住スペースと前記トイレスペースとの間でペットが出入りできるようにする仕切出入口を有し、当該仕切出入口を開閉する仕切扉とを備えている請求項 1 乃至 4 のうちいずれか 1 項に記載のペット用サークル。

**【請求項 6】**

前記正面パネル及び前記背面パネルは、居住スペース側の第 1 のパネルとトイレスペース側の第 2 のパネルとに二分割され、前記居住スペース側の第 1 のパネルとトイレスペース側の第 2 のパネルとを連結する連結部材を備えている請求項 1 乃至 5 のうちいずれか 1 項に記載のペット用サークル。

**【請求項 7】**

少なくとも前記正面パネル及び前記背面パネルは、複数本の線材を格子状に組んだ檻状とされ、前記仕切パネルの着脱位置で隣り合っている線材の間隔が他の位置で隣り合っている間隔よりも狭くされている請求項 1 乃至 6 のうちいずれか 1 項に記載のペット用サークル。

**【請求項 8】**

前記居住側トレート及び前記トイレ側トレートは、それぞれ底板部と、当該底板部の外周縁に立ち上げられた周壁部と、当該各周壁部の上端縁から外向きに突出した鉤部と、を備え、隣り合った前記居住側トレートと前記トイレ側トレートの各鉤部に、係合する折返し部が備えられている請求項 1 乃至 7 のうちいずれか 1 項に記載のペット用サークル。

**【請求項 9】**

前記居住側トレート及び前記トイレ側トレートは、一体化させている請求項 1 乃至 7 のうちいずれか 1 項に記載のペット用サークル。

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】**

10

20

30

40

50

**【 0 0 0 1 】**

本発明は、犬や猫などのペットを入れるペット用サークルに関し、特に、居住スペースとトイレスペースとが隣り合うように設けられたペット用サークルに関する。

**【 背景技術 】****【 0 0 0 2 】**

犬や猫などのペットを屋内で飼えるようにしたペット用サークルが種々提供されている。例えば、特許文献 1 には、広めの居住スペースと狭めのトイレスペースとが隣り合うように設けられたペット用サークルが記載されている。

**【 0 0 0 3 】**

このペット用サークルは、内部空間を設ける周壁パネルと、この内部空間を居住スペースとトイレスペースとに区画する仕切パネルとを備えている。居住スペースの床面は、タイル地やカーペット地とされている。トイレスペースには、プラスチック製や金属製のトレイが設置されている。なお、ペット用サークルは、一般的に正面のパネルに扉を取り付けている。

10

**【 先行技術文献 】****【 特許文献 】****【 0 0 0 4 】**

**【 特許文献 1 】**特開 2 0 0 3 - 2 3 9 0 4 号公報

**【 発明の概要 】****【 発明が解決しようとする課題 】**

20

**【 0 0 0 5 】**

特許文献 1 に記載されたペット用サークルは、向かって左側に居住スペースが設置され、右側にトイレスペースが設置されている。ペット用サークルは、設置されるリビングルームのレイアウトの関係などから、向かって左側にトイレスペースを設置し、右側に居住スペースを設置したい場合がある。しかし、ペット用サークルは、正面側と背面側を反転させて、居住スペースとトイレスペースとを左右交換すると、扉が壁向きとなり、前面に扉を有さなくなる。

**【 0 0 0 6 】**

本発明は、正面と背面とを反転することなく、隣り合った居住スペースとトイレスペースとの配置を変更することができるようにしたペット用サークルを提供することを目的とする。

30

**【 課題を解決するための手段 】****【 0 0 0 7 】**

本発明の一態様のペット用サークルは、

正面パネルと背面パネルと左右の側面パネルとの各側辺が互いに連結され、内側に内部空間を設ける周壁パネルと、

前記内部空間を居住スペースとトイレスペースとに区画するように前記正面パネル及び前記背面パネルに取り付けられる仕切パネルと、

前記居住スペース側に置かれる大きめの居住側トレイと、

前記トイレスペース側に置かれる小さめのトイレ側トレイと、

40

を備え、

前記居住側トレイと前記トイレ側トレイとが交換自在とされ、当該両トレイの交換に対応して前記仕切パネルが前記正面パネル及び前記背面パネルに着脱自在とされ、当該仕切パネルの取付位置によって前記居住スペースとトイレスペースとの配置が変更可能とされている。

**【 0 0 0 8 】**

前記居住側トレイは、前記居住スペース内に置かれる又は前記居住スペースから食み出るように置かれ、前記トイレ側トレイは、前記トイレスペース内に置かれる又は前記トイレスペースから食み出るように置かれてもよい。

**【 0 0 0 9 】**

50

前記正面パネルは、前記居住スペースへの出入口及び前記トイレスペースへの出入口を有し、前記各出入口を開閉する主扉を備えていてもよい。

この場合、前記正面パネルは、前記居住スペースへの出入口と前記トイレスペースへの出入口との間に設けられる中間部であって、前記仕切パネルが取り付けられる中間部を備えていてもよい

前記仕切パネルは、前記居住スペースと前記トイレスペースとの間でペットが出入りできるようにする仕切出入口を有し、当該仕切出入口を開閉する各仕切扉とを備えていてもよい。

【0010】

前記正面パネル及び前記背面パネルは、居住スペース側の第1のパネルとトイレスペース側の第2のパネルとに二分割され、前記居住スペース側の第1のパネルとトイレスペース側の第2のパネルとを連結する連結部材を備えていてもよい。

少なくとも前記正面パネル及び前記背面パネルは、複数本の線材を格子状に組んだ檻状とされ、前記仕切パネルの着脱位置で隣り合っている線材の間隔が他の位置で隣り合っている間隔よりも狭くされていてもよい。

【0011】

前記居住側トレイ及び前記トイレ側トレイは、それぞれ底板部と、当該底板部の外周縁に立ち上げられた周壁部と、当該各周壁部の上端縁から外向きに突出した鍔部と、を備え、隣り合った前記居住側トレイと前記トイレ側トレイの各鍔部に、係合する折返し部が備えられていてもよい。

【0012】

前記居住側トレイ及び前記トイレ側トレイは、一体化されていてもよい。

【発明の効果】

【0013】

本発明によれば、正面と背面とを反転することなく、隣り合った居住スペースとトイレスペースとの配置を変更することができるようにしたペット用サークルを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【0014】

【図1】本発明に係るペット用サークルの一実施形態を示す斜視図であって、居住スペースが右側、トイレスペースが左側にある状態を示す斜視図である。

【図2】本発明に係るペット用サークルの一実施形態を示す斜視図であって、居住スペースが左側、トイレスペースが右側にある状態を示す斜視図である。

【図3】本発明に係るペット用サークルの一実施形態を示す斜視図であって、居住スペースが右側、トイレスペースが左側にある状態を示す分解斜視図である。

【図4】本発明に係るペット用サークルの一実施形態を示す斜視図であって、正面パネルに備えられた主扉及び仕切パネルに備えられた仕切扉が開けられている状態を示す斜視図である。

【図5】本発明に係るペット用サークルに備えられたトレイの一実施形態を示す断面正面図であって、(a)は全体を示す正面断面図、(b)は、要部を拡大した正面断面図である。

【発明を実施するための形態】

【0015】

以下、本発明のペット用サークルの一実施形態について図面を参照して説明する。本発明のペット用サークルは、周壁パネル1と、仕切パネル2と、居住側トレイ41と、トイレ側トレイ42と、を備えている。本発明のペット用サークルは、さらに天井パネル3を備えている。

【0016】

図1乃至図4に示すように、周壁パネル1は、リビングルームのフロアなどの上に設置され、正面パネル11と背面パネル12と左右の側面パネル13, 14とを備えている。

各パネル 1 1 ~ 1 4 は、各側辺が連結部材 1 5 によって互いに連結される。周壁パネル 1 の内側に内部空間 5 が設けられる。仕切パネル 2 は、内部空間 5 を広めの居住スペース 5 1 狭めのトイレスペース 5 2 とに区画するように正面パネル 1 1 及び背面パネル 1 2 に取り付けられる。

【 0 0 1 7 】

図 3 にも示すように、周壁パネル 1、仕切パネル 2 及び天井パネル 3 は、複数本の線材（番線）6 を格子状に組んだ檻状とれている。すなわち、正面パネル 1 1 は、起立姿勢で並べられた多数本の線材 6 と、水平姿勢で並べられた複数本の線材 6 とによって檻状とされている。背面パネル 1 2、左右の側面パネル 1 3、1 4 及び仕切パネル 2 は、起立姿勢で並べられた多数本の線材 6 と、上下の 2 か所及び中間の 2 か所とに水平姿勢で並べられた線材 6 とによって檻状とされている。天井パネル 3 は、水平姿勢で正面パネル 1 1 と背面パネル 1 2 とに架け渡されるように並べられた多数本の線材 6 と、水平姿勢で左右の両側面パネル 1 3、1 4 に架け渡されるように並べられた複数本（例えば 4 本）の線材 6 とによって檻状とされている。

10

【 0 0 1 8 】

正面パネル 1 1、背面パネル 1 2 及び天井パネル 3 は、居住スペース 5 1 側の第 1 の分割パネル（採番せず）とトイレスペース 5 2 の第 2 の分割パネル（採番せず）に二分割される。分割パネルは、重ね合わされることで、コンパクトに梱包することができる。分割パネルは、連結部材 1 5 によって連結されることで、フラットな所定の大きさの正面パネル 1 1、背面パネル 1 2 及び天井パネル 3 に組み立てられる。

20

【 0 0 1 9 】

図 4 にも示すように、正面パネル 1 1 の第 1 の分割パネルは、居住スペース 5 1 への出入口又はトイレスペース 5 2 への出入口となる第 1 の出入口 1 1 1 を有し、この第 1 の出入口 1 1 1 を開閉する第 1 の主扉 1 1 3 を備えている。正面パネル 1 1 の第 2 の分割パネルは、居住スペース 5 1 への出入口又はトイレスペース 5 2 への出入口となる第 2 の出入口 1 1 2 を有し、この第 2 の出入口 1 1 2 を開閉する第 2 の主扉 1 1 4 を備えている。両主扉 1 1 3、1 1 4 は、蝶番のような支持部材 1 1 5 を基端側の軸にして手前側に開閉する開き戸である。支持部材 1 1 5 は、側面パネル 1 3、1 4 に隣接する正面パネル 1 1 の線材 6 に取り付けられる。

【 0 0 2 0 】

各主扉 1 1 3、1 1 4 の先端部には、ロック部材 1 1 6 が取り付けられている。ロック部材 1 1 6 は、各主扉 1 1 3、1 1 4 の上部及び下部で突出・退入するスライド部材 1 1 7 と、スライド部材 1 1 7 を操作するハンドル（採番せず）とを備えている。スライド部材 1 1 7 が突出することで、各主扉 1 1 3、1 1 4 が開けられないようにされている。スライド部材 1 1 7 が退入することで、各主扉 1 1 3、1 1 4 が開けられるようにされている。

30

【 0 0 2 1 】

正面パネル 1 1 は、居住スペース 5 1 の出入口とトイレスペース 5 2 の出入口との間に中間部 1 1 8 を設けたものとされる。中間部 1 1 8 は、第 1 の分割パネルに設けられ、第 2 の分割パネルに設けられない。したがって、第 1 の分割パネルは、第 2 の分割パネルよりも中間部 1 1 8 の分だけ大きく形成されている。この中間部 1 1 8 の一端（例えば左端）又は他端（例えば右端）に仕切パネル 2 の前側端縁が位置する。

40

【 0 0 2 2 】

仕切パネル 2 の上端縁には、一对の掛止部 2 3、2 3 が反対方向に突出するように設けられている。各掛止部 2 3、2 3 が正面パネル 1 1 と背面パネル 1 2 の各上側の水平姿勢の線材 6 に掛止される。仕切パネル 2 の背面側は、中間部 1 1 8 と向き合う背面パネル 1 2 に位置する。正面パネル 1 1 の中間部 1 1 8 と、この中間部 1 1 8 と向き合う背面パネル 1 2 の中間部 1 1 8 は、両線材 6 の間隔が、中間部 1 1 8 以外の部位の線材 6 の間隔よりも狭くされている。こうすることで、仕切パネル 2 が位置ずれしないようにすることができるとともに、仕切パネル 2 を掛止する位置の目印となる。

50

## 【 0 0 2 3 】

仕切パネル 2 は、居住スペース 5 1 とトイレスペース 5 2 との間でペットが出入りできるようにする仕切出入口 2 1 を有し、この仕切出入口 2 1 を開閉する仕切扉 2 2 とを備えている。仕切出入口 2 1 は、例えば、正面パネル 1 1 側に設けられる。仕切扉 2 2 は、スライドする引き戸とされている。仕切パネル 2 は、仕切扉 2 2 のスライドをガイドする線材 6 を備えている。

## 【 0 0 2 4 】

天井パネル 3 の第 1 の分割パネルと第 2 の分割パネルは、同じ大きさに形成される。天井パネル 3 の第 2 の分割パネルが天井パネル 3 の第 1 の分割パネルと隣り合う側（基端側）の線材 6 であって、正面パネル 1 1 及び背面パネル 1 2 と平行に向いた線材 6 の一対は、天井パネル 3 の第 1 の分割パネルの線材 6 であって、天井パネル 3 の第 2 の分割パネルと隣り合っている線材 6 に間隔を空けて巻き付くように延長した折返し部（採番せず）を備えている。この折返し部によって、天井パネル 3 の第 1 の分割パネルと第 2 の分割パネルとが平坦な状態と跳ね上がった状態とに姿勢転換するように開閉する。

10

## 【 0 0 2 5 】

天井パネル 3 の第 1 の分割パネルは、居住スペース 5 1 を囲む側の正面パネル 1 1、背面パネル 1 2 及び一方（図面では右側）の側板パネル 1 3 の上縁に重なるように設置され、跳ね上がった開扉状態と、居住スペース 5 1 を閉じた閉扉状態とに開閉する。天井パネル 3 の第 2 の分割パネルは、トイレスペース 5 2 を囲む側の正面パネル 1 1、背面パネル 1 2 及び他方（図面では左側）側板パネル 1 4 の上縁に重なるように設置され、跳ね上がった開扉状態と、トイレスペース 5 2 を閉じた閉扉状態とに開閉する。

20

## 【 0 0 2 6 】

さらに、天井パネル 3 の両分割パネルの遊端側には、閉扉した状態を維持できるように、各側板パネル 1 3、1 4 の上縁の線材 6 に引っ掛かるフック 3 1、3 1 が設けられている。天井パネル 3 の各分割パネルの遊端部は、上向きの力が加えられることで、フック 3 1、3 1 が各側板パネル 1 3、1 4 の上縁の線材 6 から外れ、開扉することができる。

## 【 0 0 2 7 】

広めの居住スペース 5 1 内には、大きめの居住側トレイ 4 1 が置かれる。狭めのトイレスペース 5 2 内には、小さめのトイレ側トレイ 4 2 が置かれる。両トレイ 4 1、4 2 は、例えば ABS 樹脂のような樹脂や金属などで成形される。居住側トレイ 4 1 がトイレ側トレイ 4 2 よりも大きくても、正面パネル 1 1 に中間部 1 1 8 が設けられていることにより、居住側トレイ 4 1 が両出入口 1 1 1、1 1 2 に食み出ることはない。換言すれば、居住側トレイ 4 1 が両出入口 1 1 1、1 1 2 に食み出ないような大きさに中間部 1 1 8 が設けられる。

30

## 【 0 0 2 8 】

図 5 に示すように、居住側トレイ 4 1 及びトイレ側トレイ 4 2 は、それぞれ底板部 4 1 1、4 2 1 と、この底板部 4 1 1、4 2 1 の外周縁に立ち上げられた周壁部 4 1 2、4 2 2 と、この各周壁部 4 1 2、4 2 2 の上端縁から外向きに突出した鍔部 4 1 3、4 2 3 とを備えている。隣り合った居住側トレイ 4 1 の鍔部 4 1 3 とトイレ側トレイ 4 2 の鍔部 4 2 3 とには、係合する折返し部 4 1 4、4 2 4 がそれぞれ備えられている。トイレ側トレイ 4 2 の折返し部 4 2 4 が居住側トレイ 4 1 の折返し部 4 1 4 に被さることで、両トレイ 4 1、4 2 が連結される。なお、図示しないが、居住側トレイ 4 1 の折返し部 4 1 4 がトイレ側トレイ 4 2 の折返し部 4 2 4 に被さるようにしてもよい。

40

## 【 0 0 2 9 】

居住側トレイ 4 1 の底板部 4 1 1 には、複数（図面では 3 か所）の突起 4 1 5 が設けられている。突起 4 1 5 は、折返し部 4 1 4 が設けられる周壁部 4 1 2 に近接して設けられている。つまり、居住側トレイ 4 1 には、突起 4 1 5 と周壁部 4 1 2 との間に溝部 4 1 6 が形成された状態とされている。この溝部 4 1 6 内に仕切パネル 2 の下縁部が嵌め込まれる。このようにして仕切パネル 2 は、ガタツキがないように内部空間 5 を仕切る。

## 【 0 0 3 0 】

50

ここで、本実施形態のペット用サークルの組立手順について説明する。まず、リビングルームのレイアウトなどから、ペットの飼主である使用者は、向かって右側に居住スペース 5 1 を設置し、左側にトイレスペース 5 2 を設置するか、あるいは、向かって右側にトイレスペース 5 2 を設置し、左側に居住スペース 5 1 を設置するかを決定する。

【 0 0 3 1 】

ペット用サークルの正面パネル 1 1、背面パネル 1 2 及び天井パネル 3 は、第 1 の分割パネルと第 2 の分割パネルとに二分割され、重ね合わされ、コンパクトに梱包されて配達される。したがって、開梱した後、使用者は、二分割されている第 1 の分割パネルと第 2 の分割パネルとを並べて連結部材 1 5 によって一体化し、所定の正面パネル 1 1、背面パネル 1 2 及び天井パネル 3 に組み立てる。

10

【 0 0 3 2 】

なお、正面パネル 1 1 は、梱包されたときに、各主扉 1 1 3、1 1 4 が両出入口 1 1 1、1 1 2 に予め取り付けられたものであってもよいし、別途、取り付けられるものであってもよい。また、仕切パネル 2 は、梱包されたときに、仕切出入口 2 1 に仕切扉 2 2 が取り付けられたものであってもよいし、別途、取り付けられるものであってもよい。

【 0 0 3 3 】

図 1 に示すように、右側に居住スペース 5 1 を設置し、左側にトイレスペース 5 2 を設置する場合は、右側に居住側トレイ 4 1 を置き、左側にトイレ側トレイ 4 2 を置く。図 2 に示すように、左側に居住スペース 5 1 を設置し、右側にトイレスペース 5 2 を設置する場合は、左側に居住側トレイ 4 1 を置き、右側にトイレ側トレイ 4 2 を置く。いずれにしても、トイレ側トレイ 4 2 の折返し部 4 2 4 が居住側トレイ 4 1 の折返し部 4 1 4 に被さることで、両トレイ 4 1、4 2 が連結される。

20

【 0 0 3 4 】

使用者は、この両トレイ 4 1、4 2 を囲むように周壁パネル 1 を組み立てる。使用者は、正面パネル 1 1 と背面パネル 1 2 と側板パネル 1 3、1 4 が両トレイ 4 1、4 2 を囲むように起立させる。ただし、仕切パネル 2 の上端縁で突出した一对の掛止部 2 3、2 3 が正面パネル 1 1 の線材 6 と背面パネル 1 2 の線材 6 とに引っ掛けられるように、正面パネル 1 1 と背面パネル 1 2 の上部の間隔が下部の間隔よりも広くされている。

【 0 0 3 5 】

使用者は、正面パネル 1 1 と背面パネル 1 2 の上部の間隔と下部の間隔とが同じ、すなわち、正面パネル 1 1 と背面パネル 1 2 が平行になるように起立させることで、仕切パネル 2 の上部で突出した一对の掛止部 2 3、2 3 が正面パネル 1 1 の線材 6 と背面パネル 1 2 の線材 6 とに引っ掛けられる。仕切パネル 2 の下縁部は、居住側トレイ 4 1 の溝部 4 1 6 内に嵌め込まれる。

30

【 0 0 3 6 】

そして、正面パネル 1 1 と背面パネル 1 2 と左右の側面パネル 1 3、1 4 との各側辺を連結部材 1 5 によって互いに連結することで、内側に内部空間 5 を設ける周壁パネル 1 が組み立てられる。周壁パネル 1 は、連結された居住側トレイ 4 1 とトイレ側トレイ 4 2 との両鏝部 4 1 3、4 2 3 を囲むことで、両トレイ 4 1、4 2 を位置ずれさせない。

【 0 0 3 7 】

次に、使用者は、仕切パネル 2 を正面パネル 1 1 と背面パネル 1 2 とに取り付ける。図 1 に示すように、右側に居住スペース 5 1 を設置し、左側にトイレスペース 5 2 を設置する場合は、正面パネル 1 1 の中間部 1 1 8 の左側に仕切パネル 2 を位置させる。図 2 に示すように、左側に居住スペース 5 1 を設置し、右側にトイレスペース 5 2 を設置する場合は、正面パネル 1 1 の中間部 1 1 8 の右側に仕切パネル 2 を位置させる。

40

【 0 0 3 8 】

いずれにしても、仕切パネル 2 の上辺から突出した掛止部 2 3、2 3 が正面パネル 1 1 の中間部 1 1 8 及びこの中間部 1 1 8 と対向する背面パネル 1 2 の水平姿勢とされた最上の線材 6 に引っ掛けられる。仕切パネル 2 の下縁部が居住側トレイ 4 1 の溝部 4 1 6 内に嵌め込まれる。なお、仕切パネル 2 は、梱包されたときに、仕切出入口 2 1 に仕切扉 2 2

50

が取り付けられたものであってもよいし、別途、取り付けられるものであってもよい。

【0039】

次に、使用者は、内部空間5を塞ぐように天井パネル3の周縁を周壁パネル1上に置く。使用者は、天井パネル3と周壁パネル1とも連結部材15によって連結する。天井パネル3によって、ペットが内部空間5内から飛び出ないようにするとともに、周壁パネル1を保形することができる。

【0040】

ここで、本実施形態のペット用サークルの使用方法について説明する。ここでは、正面パネル11の第1の出入口111側に居住スペース51が設けられ、第2の出入口112側にトイレスペース52が設けられるとして説明する。居住スペース51内の居住側トレイ41上には、食器などが置かれる。トイレスペース52内のトイレ側トレイ42上には、トイレ用具が置かれる。この食器やトイレ用具は、天井パネル3の各分割パネルを開閉することで、入れたり出したりすることができる。

10

【0041】

飼主が外出したり、就寝したりするときは、ペットをペット用サークル内に入れて、正面パネル11の両主扉113, 114を閉じた状態とする。仕切パネル2の仕切扉22は、基本的に開けた状態とする。

【0042】

ペットに対してトイレ躡るときは、ペットを居住スペース51内に入れて、正面パネル11の両主扉113, 114及び仕切パネル2の仕切扉22を閉じた状態とする。ペットの様子から排泄が近づいてきたと察知できた場合、飼主は、仕切パネル2の仕切扉22を開けて、ペットをトイレスペース52へ誘導する。飼主は、ペットがトイレ側トレイ42で排泄し終わると、トイレ側トレイ42で排泄したことを誉める。

20

【0043】

そして、飼主は、仕切パネル2の仕切扉22を開けてペットを居住スペース51へ戻す。そして、ペットを内部空間5内から出すときは、飼主は、正面パネル11の居住スペース51の第1の主扉113を開ける。ペットは、居住スペース51へ戻すことなく、正面パネル11のトイレスペース52の第2の主扉114から出すようにしてもよい。

【0044】

ペットに対するトイレの躡ができると、仕切パネル2の仕切扉22は、開けっ放しにしてよい。飼主が外出したり、就寝したりするとき以外は、正面パネル11のトイレスペース52側の第2の主扉114も開けっ放しにしてよい。ただし、躡ができたペットについて、仕切扉22と各主扉113, 114の開閉は、飼主の任意である。

30

【0045】

また、ペット用サークルの設置場所が変更され、居住スペース51とトイレスペース52とを入れ替えたい場合は、天井パネル3を周壁パネル1から外し、仕切パネル2を正面パネル11及び背面パネル12から外し、居住側トレイ41とトイレ側トレイ42とを交換し、仕切パネル2を正面パネル11及び背面パネル12に付け直す。

【0046】

以上、本発明の一実施形態について説明したが、本発明は、上述の実施形態に限定されるものではなく、本発明の目的を達成できる範囲での変形改良等は本発明に含まれるものである。

40

【0047】

例えば、ペット用サークルは、天井パネル3を必ずしも備えなくてもよい。天井パネル3を備えない場合は、周壁パネル1の上縁に枠状のフレーム(図示せず)を固定してもよい。この場合は、枠状のフレームに仕切パネル2の掛止部23を引っ掛ける切欠き部を二対、形成してもよい。

【0048】

また、仕切パネル2は、必ずしも仕切扉22を備えなくてもよい。この場合、ペットは、正面パネル11の居住スペース51への第1の出入口111及びトイレスペース52へ

50

の第2の出入口112を通過して、居住スペース51とトイレスペース52とを行き来する。

【0049】

居住スペース51への第1の出入口111及びトイレスペース52への第2の出入口112は、正面パネル11でなく、少なくとも一方を側面パネル13, 14に設けてもよい。また、何れであっても、主扉113, 114は、折れ戸としてもよい。主扉113, 114に取り付けられるロック部材116は、ターンするだけの部材であったり、ラッチのような部材であったりしてもよい。

【0050】

正面パネル11、背面パネル12及び天井パネル3は、居住スペース51側の分割パネルとトイレスペース52側の分割パネルとに二分割することなく、それぞれ1枚で構成してもよい。逆に、正面パネル11、背面パネル12及び天井パネル3が大型化された場合は、三分割以上としてもよい。正面パネル11や背面パネル12を二分割以上とするときは、連結部材15によって一体化するのではなく、一方の分割パネルの一方の番線が他方の分割パネルの方へ伸びて、他方の分割パネルの直交する番線に巻き付くようにしてもよい。

10

【0051】

正面パネル11及び背面パネル12は、仕切パネル2の着脱位置の線材6の間隔を必ずしも狭くする必要はない。この場合は、仕切パネル2の取付位置の正面パネル11及び背面パネル12にテープを巻き付けたり着色したりするといったような目印を付し、仕切パネル2が位置ずれしないように掛止部23にスペーサを取り付けてもよい。仕切パネル2は、掛止部23, 23にネジを切り、ナット(図示せず)によって固定したものとしてもよい。

20

【0052】

居住側トレ-41とトイレ側トレ-42は、必ずしも折返し部414, 424を備えることなく、単に並べられるだけとしてもよい。逆に、居住側トレ-41とトイレ側トレ-42とは、一体化したものとし、左右の向きを逆転させて使用してもよい。この居住側トレ-41とトイレ側トレ-42とは、一体化したトレ-であっても、居住側トレ-41の底板部411には、複数(図面では3か所)の突起415が設けられ、突起415と周壁部412との間に溝部416が形成される。

30

【0053】

正面パネル11、背面パネル12と左右の側面パネル13, 14は、連結部材15によって連結することなく、いずれかのパネル11~14の線材6の先端部が延長され、他方の線材6を巻き付くようにして連結してもよい。

【0054】

周壁パネル1や天井パネル3は、複数の線材6を格子状に組んだ檻状とすることなく、いずれかをプラスチック製のボードとしたり、すべてを多数の孔を開けたボードとしたりしてもよい。

【0055】

居住側トレ-41とトイレ側トレ-42は、それぞれ居住スペース51内とトイレスペース52内に置かれることなく、居住スペース51とトイレスペース52から食み出すように置かれてもよい。この場合は、折返し部414, 424を備えていない側の居住側トレ-41の周壁部412, 422が周壁パネル1の外側を囲む状態となる。正面パネル11の中間部118と背面パネル12の中間部の両下端部が入り込むようにするために、両トレ-41, 42の折返し部414, 424及びこの折返し部414, 424を設ける周壁部412, 422の両端部は設けられない。

40

【0056】

以上まとめると、本発明が適用されるペット用サークルは、次のような構成を取れば足り、各種各様な実施形態をとることができる。

【0057】

50

すなわち、本発明に係るペット用サークルは、  
 正面パネル 1 1 と背面パネル 1 2 と左右の側面パネル 1 3 , 1 4 との各側辺が互いに連結され、内側に内部空間 5 を設ける周壁パネル 1 と、  
 内部空間 5 を居住スペース 5 1 とトイレスペース 5 2 とに区画するように正面パネル 1 1 及び背面パネル 1 2 に取り付けられる仕切パネル 2 と、  
 居住スペース 5 1 側に置かれる大きめの居住側トレイ 4 1 と、  
 トイレスペース 5 2 側に置かれる小さめのトイレ側トレイ 4 2 と、  
 を備え、

居住側トレイ 4 1 とトイレ側トレイ 4 2 とが交換自在とされ、当該両トレイ 4 1 , 4 2 の交換に対応して仕切パネル 2 が正面パネル 1 1 及び背面パネル 1 2 に着脱自在とされ、当該仕切パネル 2 の取付位置によって居住スペース 5 1 とトイレスペース 5 2 との配置が変更可能とされている。

【 0 0 5 8 】

このペット用サークルによれば、居住側トレイ 4 1 とトイレ側トレイ 4 2 とが交換自在とされ、当該両トレイ 4 1 , 4 2 の交換に対応して仕切パネル 2 が正面パネル 1 1 及び背面パネル 1 2 に着脱自在とされていることにより、正面と背面とを反転することなく、隣り合った居住スペース 5 1 とトイレスペース 5 2 との配置を変更することができる。

【 0 0 5 9 】

居住側トレイ 4 1 は、居住スペース 5 1 内に置かれる又は居住スペース 5 1 から食み出るように置かれ、トイレ側トレイ 4 2 は、トイレスペース 5 2 内に置かれる又はトイレスペース 5 2 から食み出るように置かれる。

【 0 0 6 0 】

このペット用サークルによれば、居住側トレイ 4 1 が居住スペース 5 1 内に置かれ、トイレ側トレイ 4 2 がトイレスペース 5 2 内に置かれることにより、周壁パネル 1 をフロアなどの上に安定して設置することができる。居住側トレイ 4 1 が居住スペース 5 1 から食み出るように置かれ、トイレ側トレイ 4 2 がトイレスペース 5 2 から食み出るように置かれることにより、周壁パネル 1 を両トレイ 4 1 , 4 2 上に設置するようにすることができる。

【 0 0 6 1 】

正面パネル 1 1 は、居住スペース 5 1 への第 1 の出入口 1 1 1 及びトイレスペース 5 2 への第 2 の出入口 1 1 2 を有し、各出入口 1 1 1 , 1 1 2 を開閉する各主扉 1 1 3 , 1 1 4 を備えている。

【 0 0 6 2 】

このペット用サークルによれば、ペットが居住スペース 5 1 又はトイレスペース 5 2 へ出入りするときに、居住スペース 5 1 への第 1 の出入口 1 1 1 及びトイレスペース 5 2 への第 2 の出入口 1 1 2 を使用することができる。ペット用サークルは、各主扉 1 1 3 , 1 1 4 を閉扉することで、ペットを内部空間 5 内に入れておくことができる。正面パネル 1 1 が居住スペース 5 1 への第 1 の出入口 1 1 1 、第 1 の主扉 1 1 3 及びトイレスペース 5 2 への第 2 の出入口 1 1 2 、第 2 の主扉 1 1 4 を有していても、ペット用サークルは、この両出入口 1 1 1 , 1 1 2 、各主扉 1 1 3 , 1 1 4 を手前に向けたまま、居住スペース 5 1 とトイレスペース 5 2 との配置を変更することができる。

【 0 0 6 3 】

この場合、正面パネル 1 1 は、居住スペース 5 1 への第 1 の出入口 1 1 1 とトイレスペース 5 2 への第 2 の出入口 1 1 2 との間に設けられる中間部 1 1 8 であって、前記仕切パネルが取り付けられる中間部 1 1 8 を備えている。

【 0 0 6 4 】

このペット用サークルによれば、居住スペース 5 1 が大きく、トイレスペース 5 2 が小さくされているときに、居住スペース 5 1 に設置する居住側トレイ 4 1 が中間部 1 1 8 内に納まるようにすることができる。

【 0 0 6 5 】

10

20

30

40

50

仕切パネル 2 は、居住スペース 5 1 とトイレスペース 5 2 との間でペットが出入りできるようにする仕切出入口 2 1 を有し、当該仕切出入口 2 1 を開閉する仕切扉 2 2 とを備えている。

【 0 0 6 6 】

このペット用サークルによれば、ペットが仕切パネル 2 の開扉した仕切出入口 2 1 を通って、居住スペース 5 1 とトイレスペース 5 2 とを行き来することができるようにすることができる。ペット用サークルは、仕切扉 2 2 を開閉することで、排泄の躰をすることができる。

【 0 0 6 7 】

正面パネル 1 1 及び背面パネル 1 2 は、居住スペース 5 1 側の第 1 のパネルとトイレスペース 5 2 側の第 2 のパネルとに二分割され、居住スペース 5 1 側の第 1 のパネルとトイレスペース 5 2 側の第 2 のパネルとを連結する連結部材 1 5 を備えている。

【 0 0 6 8 】

このペット用サークルによれば、居住スペース 5 1 側の第 1 のパネルとトイレスペース 5 2 側の第 2 のパネルとに二分割されていることにより、コンパクトに梱包することができる。運送費を抑えることができる。

【 0 0 6 9 】

少なくとも正面パネル 1 1 及び背面パネル 1 2 は、複数本の線材 6 を格子状に組んだ檻状とされ、仕切パネル 2 の着脱位置で隣り合っている線材 6 の間隔が他の位置で隣り合っている間隔よりも狭くされている。

【 0 0 7 0 】

このペット用サークルによれば、隣り合っている線材 6 の間隔が狭くされることにより、仕切パネル 2 を取り付けの位置がわかりやすくなり、また、仕切パネル 2 が位置ずれしないようにすることができる。

【 0 0 7 1 】

居住側トレイ 4 1 及びトイレ側トレイ 4 2 は、それぞれ底板部 4 1 1 , 4 2 1 と、当該底板部 4 1 1 , 4 2 1 の外周縁に立ち上げられた周壁部 4 1 2 , 4 2 2 と、当該各周壁部 4 1 2 , 4 2 2 の上端縁から外向きに突出した鍔部 4 1 3 , 4 2 3 と、を備え、隣り合った居住側トレイ 4 1 とトイレ側トレイ 4 2 の各鍔部 4 1 3 , 4 2 3 に、係合する折返し部 4 1 4 , 4 2 4 が備えられている。

【 0 0 7 2 】

このペット用サークルによれば、居住側トレイ 4 1 の鍔部 4 1 3 , 4 2 3 とトイレ側トレイ 4 2 の鍔部 4 1 3 , 4 2 3 とに備えられた折返し部 4 1 4 , 4 2 4 が係合することで、居住側トレイ 4 1 とトイレ側トレイ 4 2 とを一体化し、一方のトレイが他方のトレイに乗り上げないようにすることができる。

【 0 0 7 3 】

前記居住側トレイ及び前記トイレ側トレイは、一体化されている。このペット用サークルによれば、居住側とトイレ側に分割されていない一体のトレイを使用したいという要請に応えることができる。

【 符号の説明 】

【 0 0 7 4 】

- 1 ... 周壁パネル
- 1 1 ... 正面パネル
- 1 1 1 ... 第 1 の出入口
- 1 1 2 ... 第 2 の出入口
- 1 1 3 ... 第 1 の主扉
- 1 1 4 ... 第 2 の主扉
- 1 1 8 ... 中間部
- 1 2 ... 背面パネル
- 1 3 ... 側面パネル

10

20

30

40

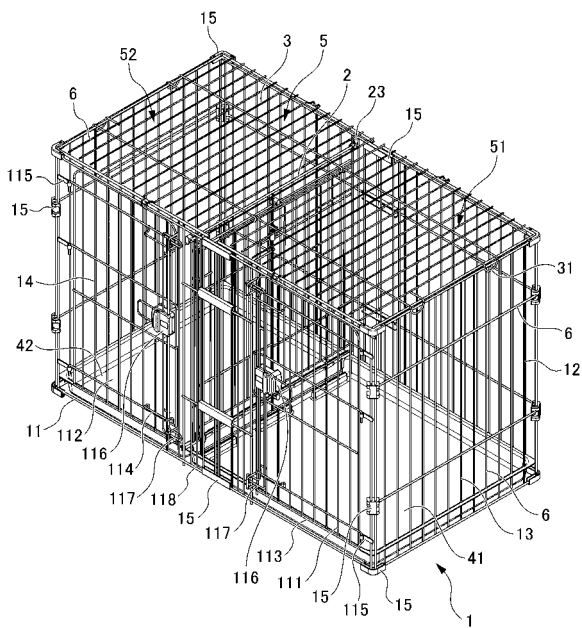
50

- 1 4 ... 側面パネル
- 1 5 ... 連結部材
- 2 ... 仕切パネル
- 2 1 ... 仕切出入口
- 2 2 ... 仕切扉
- 3 ... 天井パネル
- 4 1 ... 居住側トレー
- 4 1 1 ... 底板部
- 4 1 2 ... 周壁部
- 4 1 3 ... 罫部
- 4 1 4 ... 折返し部
- 4 2 ... トイレ側トレー
- 4 2 1 ... 底板部
- 4 2 2 ... 周壁部
- 4 2 3 ... 罫部
- 4 2 4 ... 折返し部
- 5 ... 内部空間
- 5 1 ... 居住スペース
- 5 2 ... トイレスペース
- 6 ... 線材

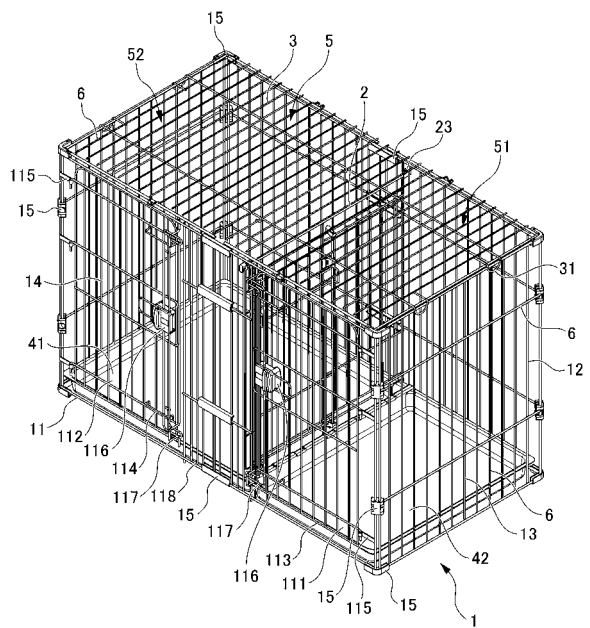
10

20

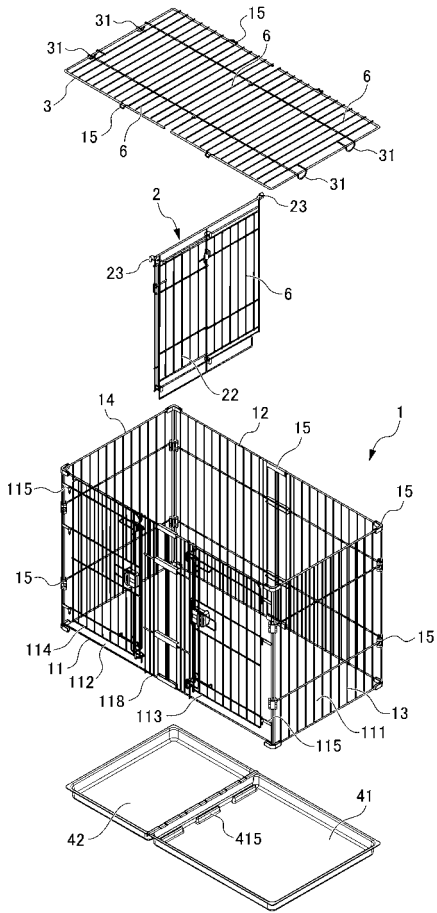
【 図 1 】



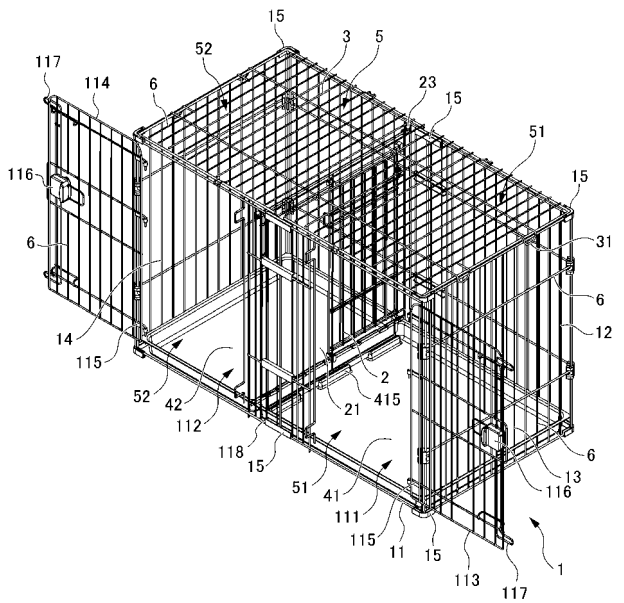
【 図 2 】



【 図 3 】



【 図 4 】



【 図 5 】

